



*Dirty Blood*  
-02-

subo'tin for adult only /

この本は吸血鬼ハンター×吸血鬼パロです。  
前編後編の後編です。完全に続き物です。これで完結します。  
前作を読んでいないとあまり良くわからない不親切設計です。ご了承ください。

※この本は18禁です。18歳未満(高校生含む)の方の購読はご遠慮ください。  
※無断転載複写/転売/オークション等への出品はお止めください。  
※その他発行者の許可していない頒布方法で入手された場合、  
当サークルでは一切責任を負いません。





# Dirty Blood

初めて会ったのに  
ねーだろ！

ある日突然、雪男の養父、獅郎が見知らぬ子供をつれできた。  
名前を燐という。  
二人はすぐに打ち解け、本当の兄弟のように仲良くなったが、  
燐が雪男と共に過ごせた時間は短かった。  
燐は親戚の元に戻り、まもなくして行方不明になった――。

雪男が燐の秘密を知ったのは、それからだいぶ後のことだった。

吸血鬼だったのだ。  
燐は人ではなかったのだ。

それをきっかけに雪男は吸血鬼ハンターになった。  
何年も生き別れた兄、燐の行方を追いつけ、  
ついに、別の吸血鬼を追っていた折、燐と再会したのだった。  
しかし、再会した燐は、雪男のことを全く覚えていなかった。

狩る側と狩られる側の立場ではあるが、二人は昔の様にまた打ち解けた。  
このまま時間が止まればいい――そう思えるほど幸せだった。

そして、雪男はついに思いを告げる。

「ずっと… ずっと前から愛してるんだ――。」

え……？

イタダキマス

おう…

お

←I→

とろろでさ

ほら

にいさん…

お前の  
兄さんの

今日  
こと  
はらす

雪男

「ねえ  
抱かせて、  
燐。」



Dirty Blood

- II -

こんな風に誰かに  
愛情をもらうのは  
久しぶりだろう

んっ

もらったことが  
あるのかどうかも  
わからない

あ…

燐

うあ

……っ…

少なくとも俺が  
覚えてる間はない

家族的なものも  
恋人的なものも

俺は…

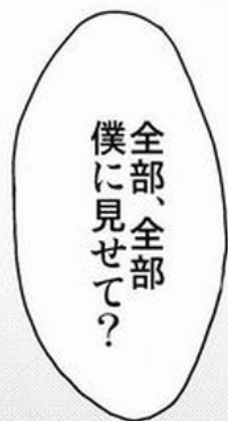
燐…

















大丈夫

怖くないよ

は、あ…あつ

130?



ア  
ツ



大丈夫?

あ…

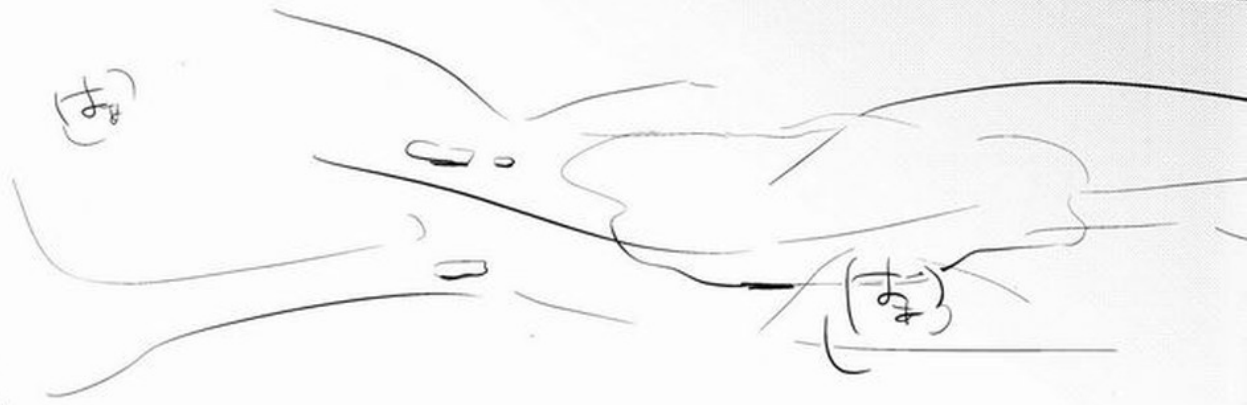
あ

3!

ひらっ

だいじょ  
…ぶっ!

そう  
ならよかった



燐…



思いつきり  
抱きついて  
ひっかいて  
いいから。













大丈夫？

んっ

んっ

!

んっ

んっ

んっ

う…

あーあ…

ちよつと溢れて  
きてるね

んっ

あう！



ゆきさ…







で、  
燐 どうするの？

飲まないなら  
抜いちやうよ？

どうしよう

ゆきお、本気だ…

ほら

ゆきお

すごいじわるな  
カオしてー

あま、あま、  
♡

ん…

ん



燐…

……

もっと僕が  
欲しくない…？

ッ……！

……









ちゃんとできた  
いい子には

ご褒美を  
あげないとね…?

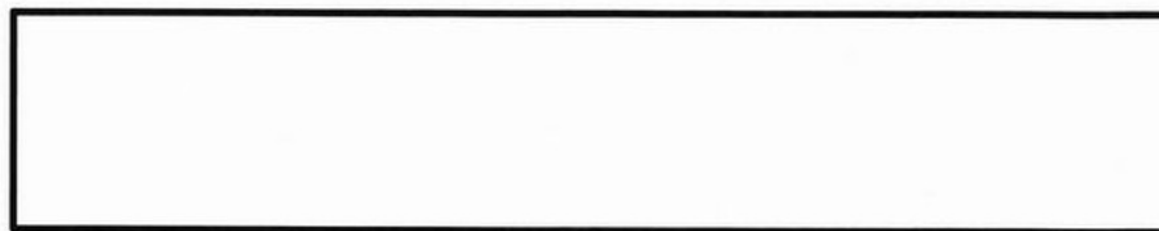


はっ  
はっ  
はっ

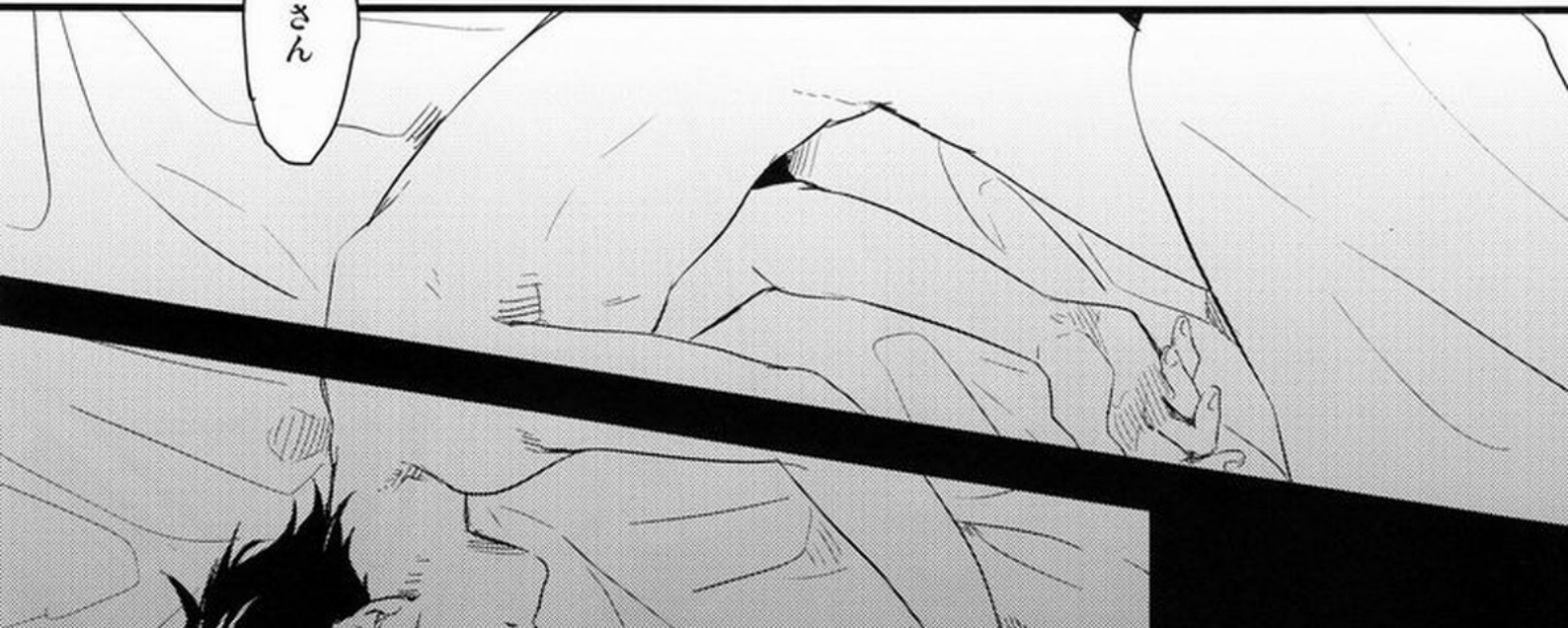
ねえ、燐



はっ  
はっ  
はっ



兄さん





禁忌が犯され、時が経ち  
再び禁忌を犯した。



キッ

キッ

キッ

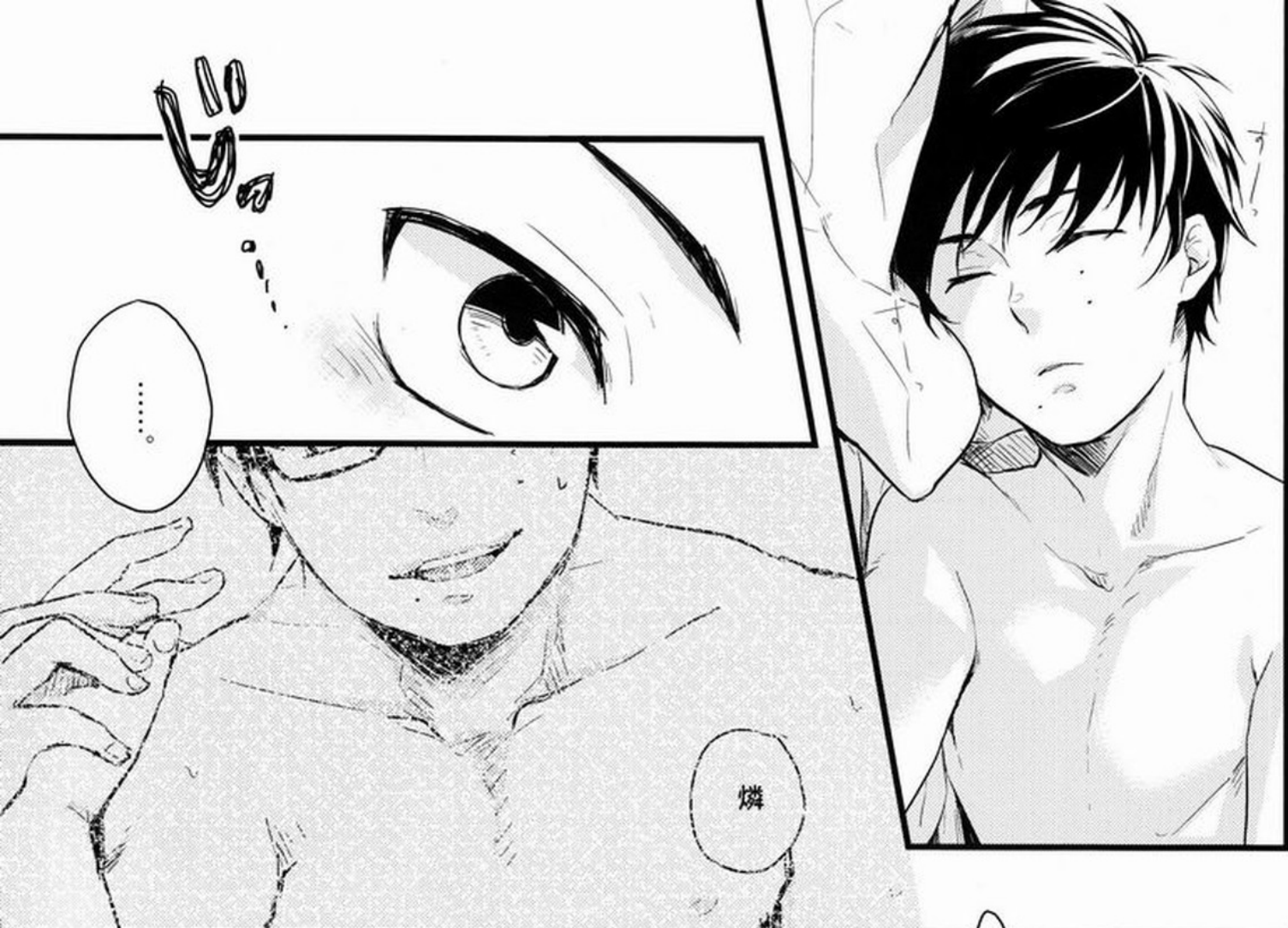
ん...

キッ

...

キッ

キッ





おはよう、



お、おはよ……

体は 大丈夫?

わぁあ

あぁあ



体中ズタボロ だっつーの!!

わっ

か!!は!!?

m

30





「つい」じゃ  
ねーっつうの…



ごめんね…

燐が可愛くて  
つい……



ごめんごめん  
おはま

おんやっ…



愛してるよ

燐



なあ、  
ゆきお



俺、な…

記憶が、さ  
ここ1年ぐらい  
しかないんだ……

……




孤独に息を  
つもらせながら

明日も見えずに  
もがき続けた


——目が覚めた時  
俺は一人だった。






自分が何処に  
いるのかも

何処に  
いたのかも  
わからなかつた



手がかりは  
たぶん自分の  
名前が書かれた  
プレートと…



自分が  
「人間じゃない」  
ってこと



クククク

結局  
自分のことすら  
何も思い出せ  
なかつたけど

生き延びる  
方法は不思議と  
体が覚えてた

でも、俺  
吸血鬼だからさ

人間とは  
深く関われ  
ないし…



だから

雪男に会うま  
ずっと一人だ

あま

あま





俺、誰かと  
いることに  
飢えてた。

雪男と一緒に  
暮らしはじめて

雪男のために  
メシ作って



それ  
「うまい」って  
言ってもらえて…

すごく  
嬉しかった。





家族  
みたいで…

不思議な話  
だよな…



家族が  
どんなのかも  
知らねえのに

会って  
間もない  
相手にさ…




え？

不思議じゃ  
ないよ



「はじめまして」  
なんて嘘ついて  
ごめんね。



ほんの数  
年の間  
だけだね



僕らはね、  
腹違いの兄弟…

いわゆる  
「異母兄弟」  
ってやつだよ



兄さんは  
吸血鬼の母親から

僕は人間の  
母親から  
それぞれ  
生まれました。





言えるワケ  
ないだろ

…お前、  
何で今まで  
黙ってたんだよ

兄さんは  
僕のことすら  
覚えてないんだ

第一、  
会っていきなり  
兄弟だって  
言っても

信じてもらえる  
ワケが  
ないだろ？

それは……

ほら。  
だから仕方の  
ないことだ。

そんなっ……!

「はいそうですか」  
って言えるの？

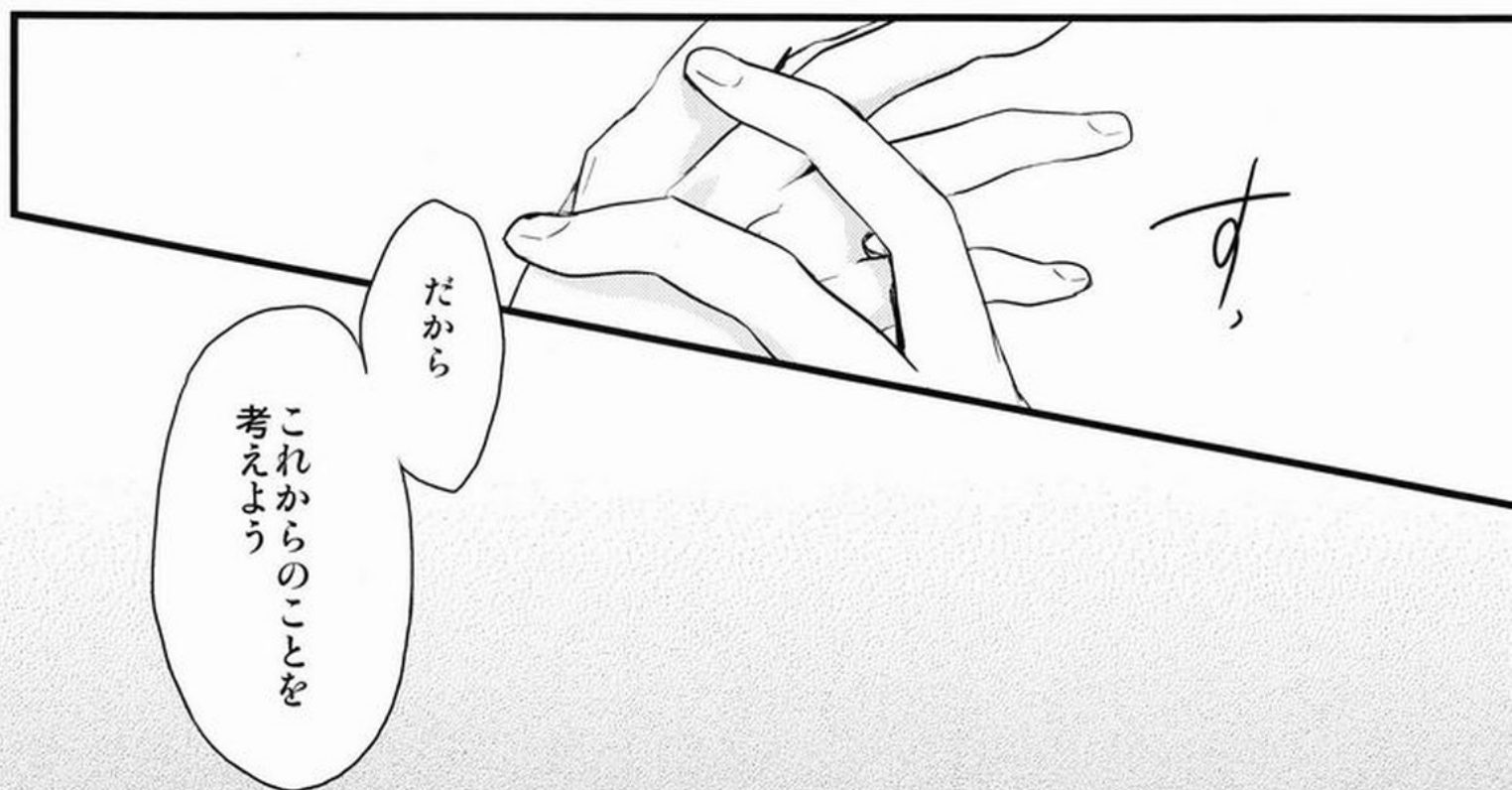


兄さんの身に  
何が起ったのか  
気がかりだ。

でも、過去を  
気にしても  
仕方がないだろ？

確かに  
ここ一年より前、

そりゃ  
そうだけど…



だから

これからのことを  
考えよう





僕らの住んでた  
日本の古い  
プロポーズだよ



ねえ、兄さん

僕に毎日  
味噌汁を作ってよ





一緒にいたい!

おれ、  
ゆ、…っ  
雪男と



…  
トキ  
トキ  
トキ  
トキ



ありがとう、

燐







別れは突然やってきた





にげ...

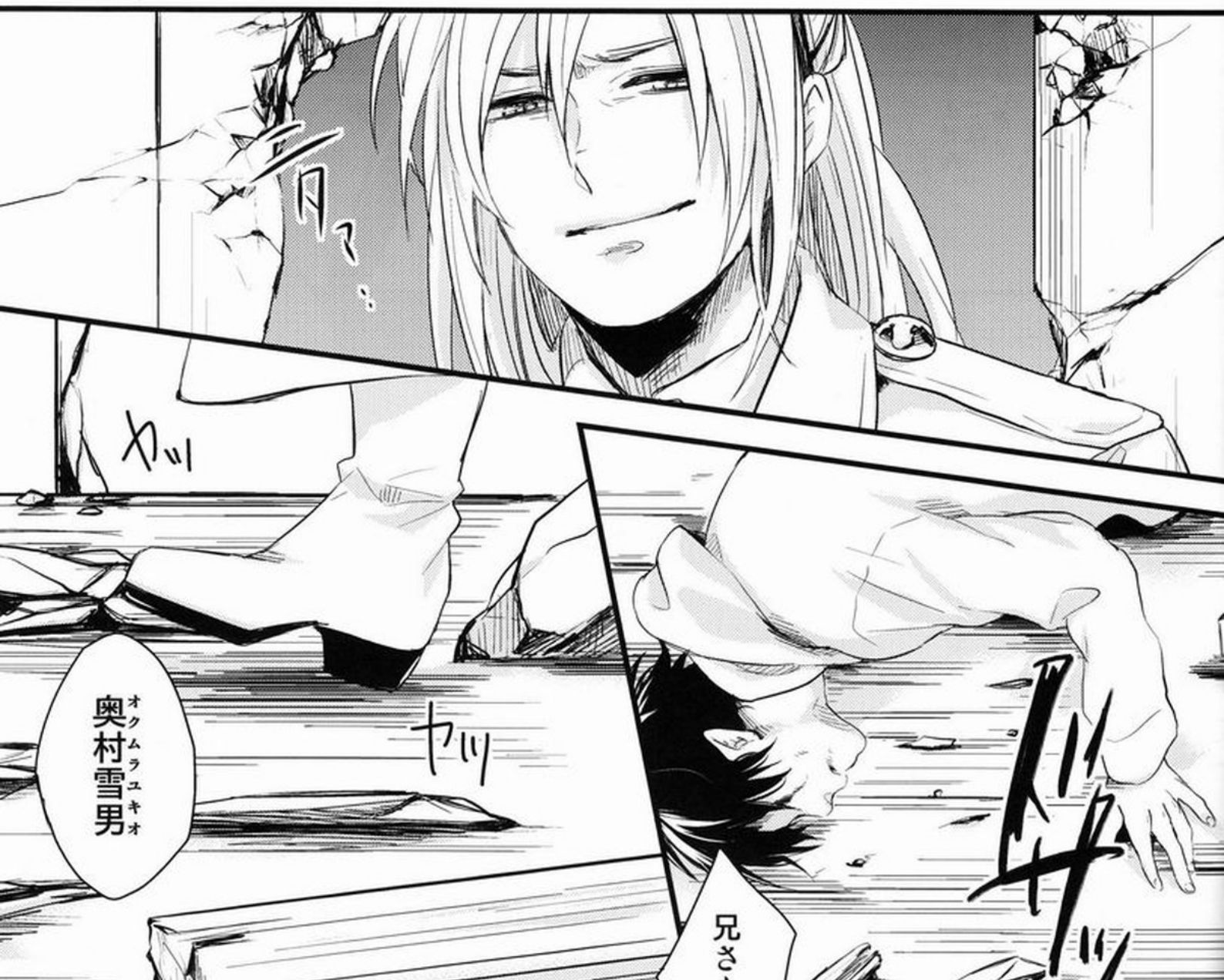
にげ...

まったく

いつまで吸血鬼と  
じゃれあつて  
いるんだ

兄さん!!

お前は  
一つの任務に  
どれだけ時間を  
かけるつもりだ？



オクムラユキオ  
奥村雪男

兄さん



私は忠告した  
はずだ

お前達の育て親と  
同じ末路を  
辿りたいのか、と…

「聞いてません  
でした」では  
通らないぞ？

ッ……！

よくやった！  
奥村雪男

茶番はもう  
結構。

高く評価しよう



吸血鬼を  
騙し抜き、

珍しい半吸血鬼の  
生け捕りに  
成功した。

ゆき...


お、

兄さん!!









…そうだよ、  
兄さん

全部その人の  
言うとおりだ。

騙されてたんだよ



この僕にね

そっか……









奥村雪男は  
ここにはいない

つれてきたのは  
お前だけだ

そっか…

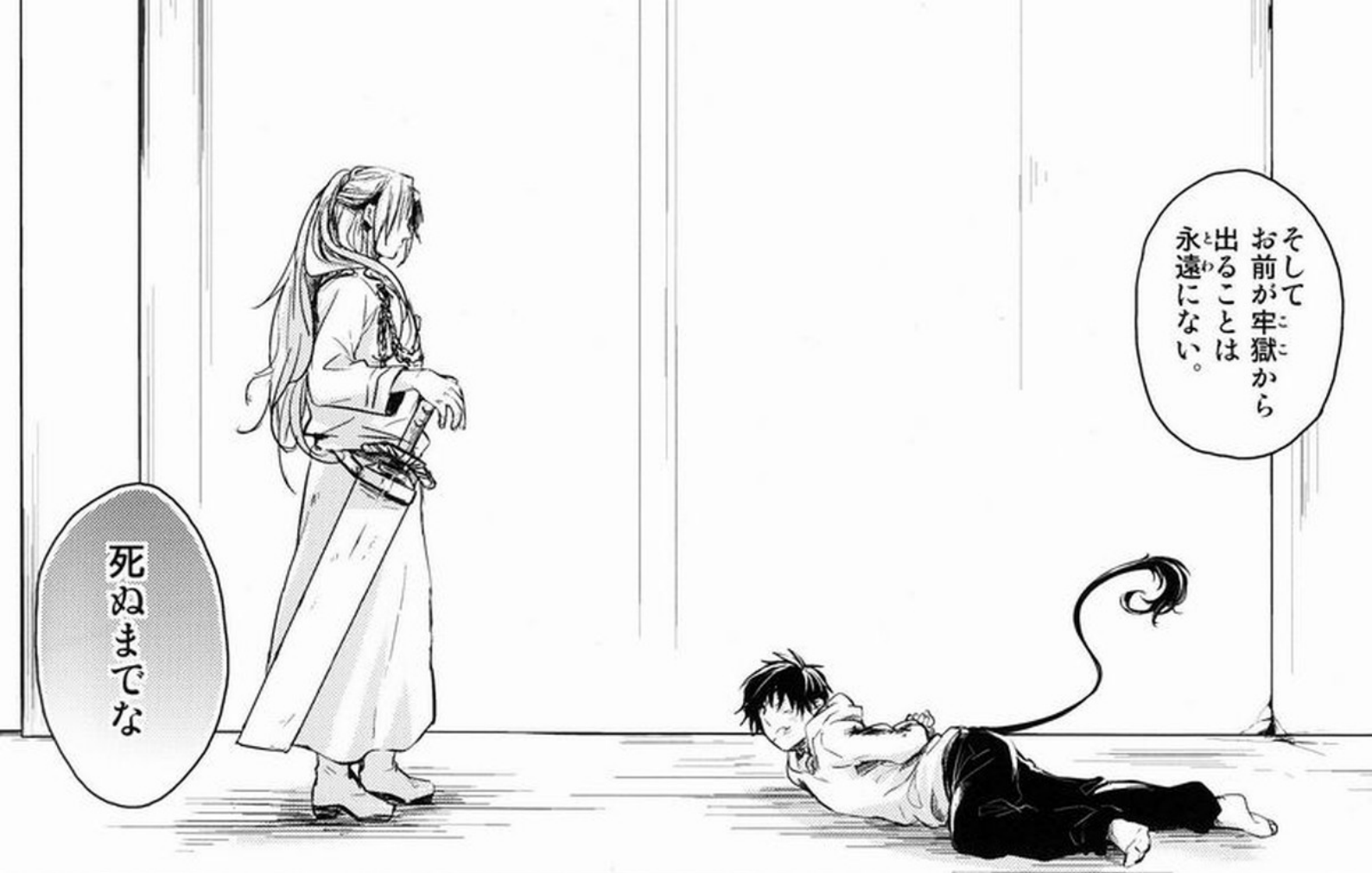
ゆきおは  
いねえのか。



残念だったな。


そう簡単に  
おまえの誘惑に  
吸血鬼の誘惑に  
負けるものか。

お前を想う者は  
もういない。




そして  
お前が牢獄から  
出ることは  
永遠にない。


死ぬまでな



愚かにも協会に  
手を出した  
吸血鬼よ

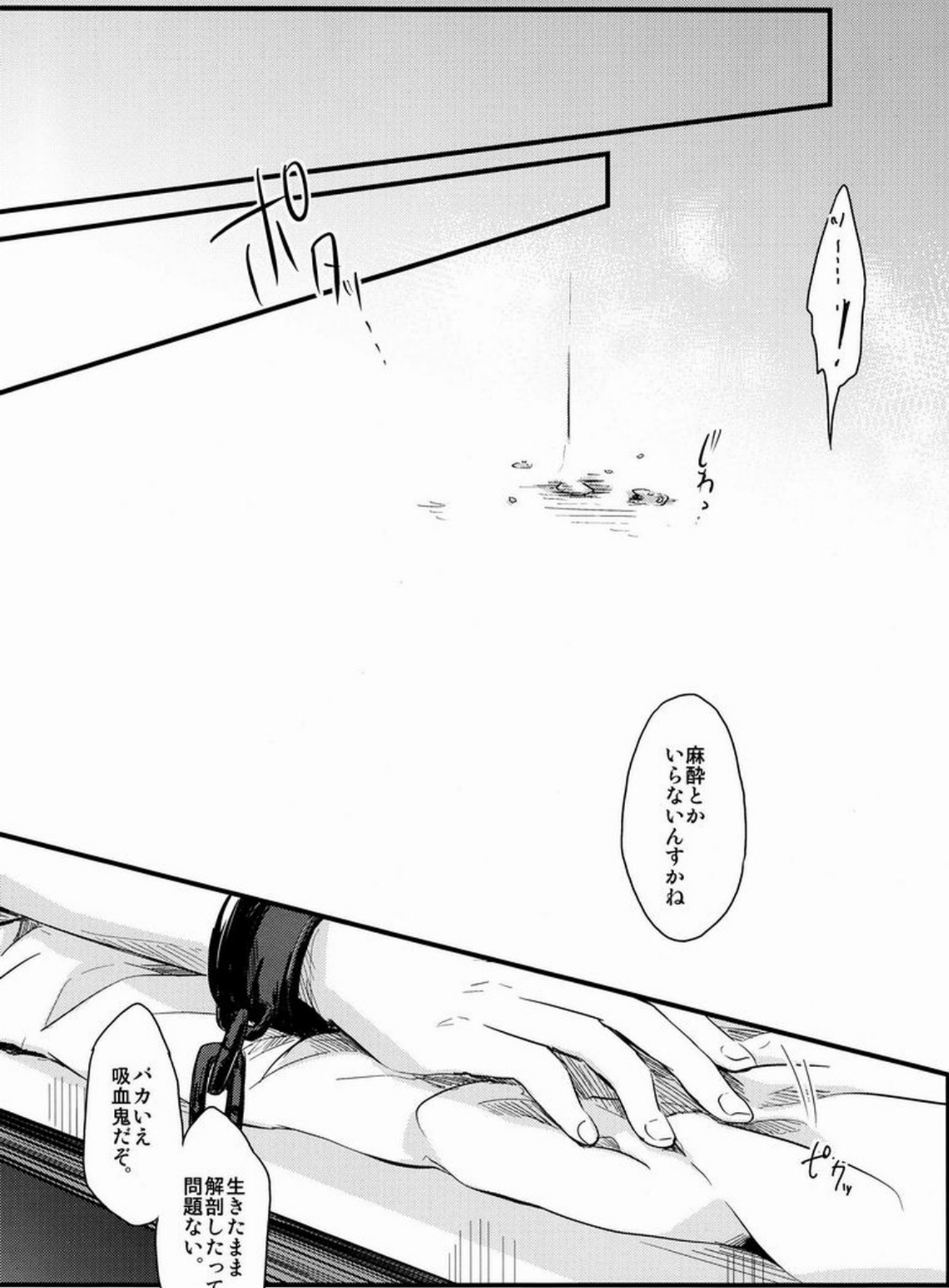


その身を  
穢されながら



己の罪深さを  
知るがいい





麻酔とか  
いらんすかね

バカいえ  
吸血鬼だぞ。

生きてたまま  
解剖したって  
問題ない。

気をつけろよ

半吸血鬼は  
吸血鬼としては  
弱い

かわりに何らかの  
特異な力を  
所持している。

人間

そっか、俺

本当に…

こいつ尻尾が  
生えてるぞ

これも特異点か？

ゆきお…

おそらく

ヒキにやけ  
ました



「 兄 さ ん 」



お兄さん





何...!?

何事...

うわっ

何...?



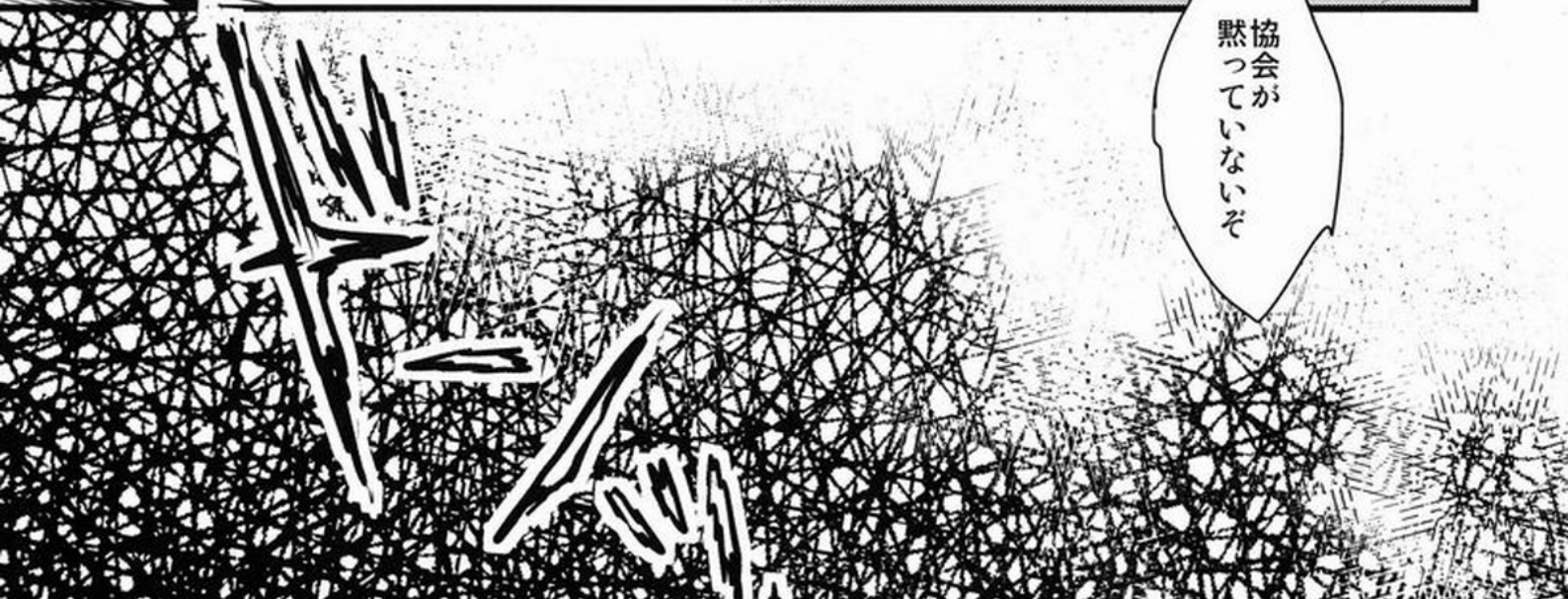
何なんだ…

これは…

汚い手で兄さんに  
触れるな



貴様…



協会が  
黙っていないぞ



そんなの…

協会こへいに入った時から  
覚悟の上だ

……  
兄さん

迎えに来たよ







僕のカじゃ、  
あの場から二人で  
生きて逃げることは  
不可能だった。

いつまで吸血鬼と  
いじゃれあって  
いるんだ

ゆ、きつ...

に...

ごめん、兄さん。

僕に兄さんを  
守れるだけの  
力があったら

兄さんに  
つらい思いを  
させずに済んだのに...



いぬいぬ...!!

ゆ





ゆきお……!

これで  
ずっと  
一緒だ。





兄さん

行こう



うん

僕らが暮らせる  
場所を探しに





はじめまして、またはこんにちは。染です。  
こんなに余裕をもってあとがきを書くのは久しぶりでしょうか。  
いつもこんな感じだといいですね……(白目)

1からだいぶ時間があいてしまって申し訳ないです。  
やっと続き出ました……!これで無事完結です。  
長い間お付き合いありがとうございました(\* ヂ ` \*)  
無事ハッピーエンドです。

長編ははじめての経験で、いろいろと苦戦しましたが、いい経験になりました。  
またやりたいかどうかと言われれば答えはNOですけどね!  
すごく書き応えがあるので、また描きたい話があれば  
チャレンジもしてみたい気がします笑

あ、なんかこれすごくあとがきっぽいあとがきがかけた気がします。

ちなみにこの話は何が描きたかったか正直に白状しますと、  
雪男に噛み付いて血を吸いながらビクビクして  
イっちゃう燐ちゃんが描きたかったので、  
私はエロページだけで本が出ちゃうぐらいのビックリ長編エロが描けて大変満足です。  
燐ちゃん、雪男君しつこくてゴメン。私わるくない。

# *Dirty Blood*

*-02-*

2012.06.25

*Blank\*Blanca/Some*

url:

<http://sx00bxb.web.fc2.com/>

mail:

[s\\_6zone@yahoo.co.jp](mailto:s_6zone@yahoo.co.jp)

pixiv:642076

printed by Kanazawa

*-for adult only-*



A watercolor illustration featuring a central figure holding a book. The figure's hands are rendered in shades of orange and yellow, with detailed line work showing the fingers gripping the book. The background is a textured wash of deep red and maroon. The text is overlaid on the figure's torso and the book.

*Blue exorcist*  
*official fanbook*  
*Shukio\*rin*  
*adult only*  
*Dirty Blood*

*presented by*  
*Blank\*Blanco*  
*2012/08*